

施工協力会員（専門工事） 規約書

橋端改良技術協会(以下甲という。)と、 _____(以下乙という。)

は、下記の事項に本日合意し、規約書（以下規約という。 ）を締結し、業務提携する。

第1条 （目 的）

本規約は、甲の活動主旨に賛同し且つ甲の活動地方内において連携し、甲の斡旋により乙の有する専門技術を持って協会会員の橋梁改良工事の施工を行なう事を目的とする。

第2条 （資 格）

橋梁関連の専門工事業を営み、建設業許可を有し、橋梁改良工事に施工実績のある法人企業。

2．活動範囲は、甲の定める地方区分とする。

3．1名以上の有資格者（2級土木施工管理技士又は実務経験10年以上の者）を選任する。

第3条 （権利及び義務）

活動地方内において、甲の斡旋により、乙の有する専門技術をもって協会会員からの受注ができる。

活動地方；東北地方一円

2．橋端改良技術協会に登録する。

3．受注実績により、利用料金を甲に納入する。

第4条 （提携解除）

甲は乙が以下の各号に該当したときは、催告なくして本規約を解除し、これによって被った損害賠償を請求できるものとする。提携の解除とは第3条の権利を失効し、登

録を抹消する。

1. 規約に違反した場合、若しくは著しい背信行為があったとき。
2. 破産、和議、特別清算、会社整理・再生・更正等の法的手続きが執られたとき。

第5条（提携期間）

本規約は、平成 年 月 日より2年間効力を有するものとする。但し第4条に抵触しない限り、又は甲乙いずれかから相手に対し、期間満了3ヶ月前迄に提携終了の書面（登録取消し・提携解除通知書）による通知にて双方合意をしたとき以外は、自動的に2年間延長されるものとし、以後も同様とする。

第6条（提携終了）

第4条及び第5条により提携終了したとき、すべての権利義務が自然消滅することではなく、甲・乙双方に業務上に関連した残務が存在するとき、誠意をもって、その整理と解決を履行する義務がある。

第7条（譲渡禁止）

甲及び乙は、本規約により発生する双方のすべての権利及び情報を、甲又は乙の文書による承諾がない限り、他へ譲渡及び担保に供することは出来ない。

第8条（意思表示）

甲及び乙は、本規約の重要な事項に関して、相手方に意志の表示をするときは、すべて文書にて行うこととする。

第9条（合意管轄）

甲及び乙は、本規約に関して、万一紛争が生じたときは、甲の所在地を管轄する地方裁判所を専属管轄裁判所とする。

第 10 条 （協 議）

本規約に定めのない事項、若しくは本規約の解釈について疑義が生じたときには、
その都度甲、乙の誠意ある協議にてこれを定める。

以 上

上記規約の締結を帰するため、本規約書 2 部を作成し、甲乙それぞれ署名と捺印の上、
各 1 部を保管する。

規約 No _____

平成 年 月 日

（甲）

住 所 〒981 - 3117

仙台市泉区市名坂字野蔵 19 番地の 3

橋端改良技術協会

氏 名 会長

印

（乙）

住 所

氏 名

印